とちぎ農産物クチコミ隊

今後、クチコミ隊としてこんなことができたらいいな、やってみたいなというものがありますか？

前回の会報誌でおこなったアンケートの設問の一つ、「今後、クチコミ隊としてどんなことをしたい？」についての回答の一部を紹介します。

- 野菜の宅配を希望します。でも、1週間～5日前くらいに今回届ける野菜のアイテムをFAX等で教えてほしい
- クチコミ隊、農家と交流会！（民宿に泊まっての農家体験）または、クチコミ隊同士の交流会など。また、一番お役に立てそうなことは、私の地元（神奈川県、平塚市）で特産品フェアなどを催していただいて、そのお手伝い（美味しさを広めること）を近くの隊員さんたちとみんな出出来れば・・・などといろいろ考えています。ぜひ、ご検討ください！
- とちぎまるごと農産物フェアや何かのイベントに、イベント側として出来ることに参加する。とか、もっと近い所でイベントがあるといいです
- 何でも良いのですが苗を植えて～収穫まで、を節目節目で現地参加みたいなのって楽しいかも…。今回、他の方々のお手紙や感想を読めて楽しかったです。とちぎの農産物で作ったお料理・お菓子や珍しいおそうざいなど紹介してもらえたら、また作ったレポートなど発表したら楽しいかな？
- 栃木農産物の通信販売ができれば友人にカタログ配りたいです。
- ごぼう収穫体験は、日時の都合がつかず参加できなくてとても残念でした。参加された方のお便りを拝見し、生産者の考えておられることを直接耳にする機会が「気づき」の中では大切なんだと思いました。直接交流出来るような機会があればいいと思います。
- 先日、生産者の方のお話をうかがい、とても良いものを作っていることが分かりました。ぜひ、PRしたいと思います。
- 農産物の詰め合わせをおためし価格（￥1500）で近所の人たちにすすめてみたい。（量は少なくて良い）
- 同じ場所で、種まき・途中経過・収穫を子供に体験させてみたいです。
- 一日農家体験（半日とか）袋詰めとか箱入れとかの出荷作業のお手伝い。

みなさん、貴重なご意見ありがとうございました。今回のアンケートもよろしくお願い致します。

お知らせ▼クチコミ隊のお手紙を待ってま～す。栃木の産物についてやクチコミについてなどなんでもOK。会報誌でご紹介します。

クチコミ隊からのおたより

■こんにちは。少し前のものですが、小松菜こんな風に育ちました。始めて野菜を植えたので、間引きの具合などがわからず一株が大きくなれなかったようです。でもおいしくいただきました。菜の花のような黄色いお花もかわいかった！ 春の野菜はタケノコを始め、アスパラ、えんどう豆、こごみ…その時だけの旬の味は、絶対に食べておきたいおいしさがありますね。とちぎの皆さん、お忙しいでしょうが体に気をつけてこれからも安心して食べられる農産物を作ってください。 NO.136　新井友里・ひな子

■初夏を思わせる陽気が続いております。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。いつもいろいろ情報などをいただきお世話になっております。ずっと前ですが小松菜の種を頂き育てた写真を同封します。子供たちと種をまき、大きく育ち収穫した後、残っていた小松菜につぼみができ、そのまま育てていると黄色い花が咲きました。写真の花は、まだ咲き始めのころで、その後の写真は撮れなかったのですが、すごく伸びて花がたくさんつき、菜の花畑を思わせるほどで、とてもきれいで子供たちも大喜びでした。春を感じさせてくれる小松菜でした。まだ種は残っているので、再びチャレンジする日は近そうです。ありがとうございました。NO.140白水佳代子・勇気

■こんにちは。とても遅くなってしまったのですが、小松菜の写真ができたので送ります。寒い時期にぜんぜん育たず、心配してメールで質問したりしたのですが、暖かくなりどんどん大きくなり子どもと喜びしました。たくさん採れたので、おじいちゃん、おばあちゃんの家や近所の方におすそ分けをして、みんなでおいしくいただきました。子どもがあげるときに「栃木の小松菜だよ。ボクが作ったんだよ！」とうれしそうに言っていました。お返しにと、お菓子をいただいたりして、とてもごきげんでした。とても良い経験をすることができました。ありがとうございました。またこのような機会があったらうれしいです。NO.46　前田愛・悠葵

野菜をつくろう！

苗の植え方

これだけ準備すればOK

野菜の苗（ナス、プチトマト、ピーマン）、スコップ、じょうろ、40㎝の棒、支柱、培養土（腐葉土）1袋、肥料1袋、（あればワラ少々）

①土づくり

30㎝ぐらい下まで土を耕したら培養土か腐葉土を入れる（腐葉土なら一つまみの肥料をまく）。上に土を戻します

②植え穴を掘る

苗のポットがそのまま入るくらいの穴を軽く掘り、苗をポットから出して穴に置く

③苗を植える

土を上からかぶせて軽く押さえる。根が窮屈にならないよう軽くです

④土寄せ

苗の根元が倒れないように土を寄せます。このとき培養土を使って土寄せしてもいいですよ

⑤苗の間隔

苗と苗の間隔は、中心から中心で40㎝くらいを必ずあけて次を植えます

⑥水やり

苗の上から、じょうろでやさしく水をたっぷりあげます

Fx §~

トマトやナスはどんどん伸びるので、支柱を立てます。根を切らないように根ばち(根が張っている周辺)の外側に立てます。生育にあわせ、倒れないようにところどころを止めていきます

⑧植え付け後

植え付けをしたら風の向きに注意し、ワラをかけます。なければ市販されているポリマルチフィルムでOK。土が乾燥しにくく、雑草が生えにくくなります

隊長の家の畑にクチコミ隊のミニトマトとナス、ピーマンをひとむねに植えました。次の会報誌で成長をお知らせしますね！

クチコミ隊の多くのみなさんが小松菜を育ててくれました。本当にありがとうございます。作物を育てるということは、情操教育にも食育にもなって、とっても貴重な体験なんですよ。今度は夏野菜のミニトマトとナス、ピーマンを作ってみしょう。どれかひとつでも、ぜひチャレンジしてみてください。プランターを使ってベランダでも育てられます。植えた人は、またぜひ経過を写真やお便りで知らせてください。まってます。（吉澤隊長）

（社）とちぎ農産物マーケティング協会理事長

実がなるのが楽しみ！今度は夏野菜にチャレンジしてみましょう

「私の家では、お米の他に、いろいろな野菜を作っています。今回使った畑は、家の敷地内の畑です。畑はうねごとに毎年種類の違う野菜を植えているんですよ。今年ウリ科をこのうねに植えたら、次の年は根菜と、順番に変えていくんです。なぜかというと、連作すると土がつかれて、苗が病気になりやすからです。土はとっても正直なんですね。少し作るなら野菜は簡単ですが、安全でおいしい野菜を商品としてたくさん作るのは、意外に大変なんですよ。

吉澤隊長 野菜づくりのポイント

野菜選び

「昔から〝八十八夜の別れ霜〟と言います。立春から数えて八十八夜を過ぎると、霜の心配がないので路地植えでも育てやすくなります。この時期に植える野菜は、病気の心配が少ないピーマンやナス、プチトマトが初心者にはおすすめです。生長するとナスとトマトは人の丈ぐらいになるので、欲張らずに少なめの数で始めてください。プランターで育てる人は、ひと苗ぐらいでやってみてください」

苗の見分け方

「苗を売っているお店に行って、苗を見比べてください。一番最初の葉（子葉）がしっかりしていて、茎が太いもの。病気があると根元がへこんだりするので、根元もよく見て選びましょう」

肥料は

「苗が若いうちは吸収する力が弱いので、肥料は入れすぎないように。肥料が強すぎると逆に苗の成分が外に出てしまい弱くなります。収穫できるようになったら、土がスタミナ切れをおこさないように、20日～1カ月ごとに、肥料を根の周りに軽く掘って入れます」

水やり

「苗を植えるとき水を十分に与えたら、後は自然に任せて。土の中が黒ければまだ水は大丈夫。白くなったら朝方に水をあげてください。自分の力で育つように、過保護にしないことも大切」

虫とり

「葉の裏を見て虫がいたら手でとります。やむをえなくなったときだけ、殺虫剤を散布します」

培養土（およそ300円）
肥料（およそ400円）

ミニトマト甘っこ
ピーマン 翠玉２号
ナス 千両２号

実は吉澤家では、隊長がお勤めのため、普段農業をしているのは奥様です。いわゆる兼業農家ですが、隊長は農業をあらゆる角度からみるプロ。今回植えた野菜の面倒は隊長が責任を持って面倒見てくれることになっています。どんな風に育つか楽しみですね！

昨年秋から残飯を山積みにしてできた吉澤家の堆肥。半年で食べ物がこんな土になってしまうなんて、本当に不思議。無臭でさらさらした土なんです